

開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業（実用化研究）
令和 7 年度終了課題 事後評価結果

開始年度	終了年度	研究開発代表者	研究開発代表機関	職名	研究開発課題名
令和 5 年度	令和 7 年度	竹内 力矢	株式会社タウンズ	機器ソリューション戦略 本部 POCT デバイス 開発部 マネージャー	結核の治療モニタリングに対応する抗原検査システムの開発
評価	計画上は目標未達となったものの、インドネシアにおける結核診療のニーズを的確に把握するとともに、ユーザビリティ評価の結果を踏まえ、システム構成および事業化戦略を柔軟に見直した点は評価できる。特に、検体前処理自動化装置の開発を追加したことや、スクリーニング用途への展開を検討したことは、社会実装の実現可能性を高める上で意義のある成果であったと評価できる。				